

(2) 朋朗會本部存立本部会則及經過報告書印刷し社報其他手傳高送達し大原外代表大谷社長ヲ訪問し會約書同朋及屬員協會
 ・朱批覆書添附し其旨通達す可質し之答テ朋朗會行動社報屋ニ掲載す可事宣明定附し能音由答覆書上送せり
 (3) 懇話會同音書送す不外代表三正日本特許顧問和田庶務課長下面談會浦田海務課長及長澤等ニ面會す求多クは拒絶せり
 詳せり

標記會社ニ於ケル朋朗會ノ紛議解決後ニ於ケル動靜左記ノ通ニ
 有之

一 會社側ノ動靜

ノ 神戸ニ本部ヲ置ク屬員協會ニ在リテハ高橋(神戸) 神
 田 岡玄、北川(横浜)ノ各理事ハ三月二十日本社ヲ訪問
 シ 朋朗會員ノ屬員問題ニ關シ陳情セルガ會社側ニ於テハ
 問題ノ擴大化ヲ恐レ三月二十一日午後二時頃前記三理事ヲ
 本社ニ招致シ
 浦田海務課長ヨリ

他ノ団体トノ行動ハ中止シ自重シテ吳レ(海員組合ノ意味)
 朋朗會員ハ査問委員會ニ於テ査問ノ上責任ノ有無ヲ決定ス
 ル

トテ二十日ノ陳情ニ對シ會社側ノ意見ヲ開陳セル結果
 屬員協會ノ三代表ハ
 平安丸ノ米國ヘ到着前騒イタト逆宣傳サレテハ困ルノデ場
 會ハ當分靜觀スル

ト陳述シ會社側ノ決意ヲ諒トシ辭去セリ
 又 朋朗會員ニ對シテハ解決以來各任所又ハ住居ニ待命セレ
 ×進退問題ハ慎重協議中ナリシガ 樫木専務 和田庶務課
 長 高橋芳徳 主事 長谷川秘書等ヲ中心ニ
 朋朗會ヘ入會ノ動機
 朋朗會ノ本運動ニ參加ノ經過
 朋朗會ノ資金關係